

# 市民提案型まちづくり事業補助金

(平成18年度事業)

## 成果報告会資料

- ・ 交付対象事業一覧・目次
- ・ 実績報告書
- ・ 自己評価書
- ・ 決算書

2007.7.1

< 交付対象事業一覧・目次 >

番号	予定時間	事業名	団体名	補助金決算額	ページ
1	13:15～13:20	多摩市聞こえと補聴器の相談会	特定非営利活動法人 多摩市聴覚障がい者情報活動センター	158,000	1
2	13:20～13:25	第19回文庫展「子どもと本の広場～本の世界であそぼう～」	多摩市文庫連絡協議会	319,000	5
3	13:25～13:30	ひじり館を花いっぱい「和みの広場」に	聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会	177,000	9
4	13:30～13:35	第16回映画祭 TAMA CINEMA FORUM	TAMA映画フォーラム実行委員会	2,500,000	13
5	13:35～13:40	多摩市消費生活フォーラム「消費者フェスタ」	多摩市消費者団体連絡会	511,000	17
6	13:40～13:45	運動会、レクレーション等の立案企画とその実施	多摩市連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会	249,000	21
7	13:45～13:50	「多摩」を音楽で溢れる街にしようプロジェクト	Artists Link Tama	614,000	25
質疑 応答	13:50～14:20	質疑・応答、無ければ時間を繰り上げます			
8	14:20～14:25	地域住民のスポーツ振興と子どもの健全育成	大栗川地域スポーツ振興会	53,000	29
9	14:25～14:30	東寺方小学校の檜の森に螢を復活させよう	東寺方自治会	132,000	33
10	14:30～14:35	こども古典芸能体験教室	多摩市古典芸能に親しむ会	884,000	37
11	14:35～14:40	高齢者いきいき祭 グラン多摩フェスタ2006	多摩市高齢者社会参加拡大事業運営協議会	293,000	41
12	14:40～14:45	地域支え合い支援事業	特定非営利活動法人 福祉亭	218,000	45
13	14:45～14:50	多摩市魅力発見市民マップづくり	多摩ケンケンガクガクの会	51,000	49
14	14:50～14:55	ハッピーママズ・スクール	NPO子育て応援団そら いるのたね	1,131,000	53
質疑 応答	14:55～15:25	質疑・応答、無ければ時間を繰り上げます			
	15:25～15:30	講評			
	15:30～15:40	休憩・移動			
第2部	15:40～17:00	意見交換			

発表の際に使用する機材の関係で、順番を変更する場合があります。

第1部・第2部共に公開で行います。(一般の方も傍聴できます。)

## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	多摩市聞こえと補聴器の相談会		
事業の目的	高齢者、中途失聴者・難聴者等の生活の向上と社会参加の増進を図る		
実施期間	平成18年6月25日(日)～平成18年11月12日(日)		
実施内容	年月日	内容	実施場所
	4月3日	実行委員会：専門相談員との打合せ	V C 永山分室
	5月8日	実行委員会：PR検討、スケジュール検討、アンケート検討	V C 永山分室
	6月14日	スタッフ・ボランティア要員説明会、実行委員会：本番手順打合せ	V C 永山分室
	6月25日	第8回多摩市聞こえと補聴器の相談会実施	総合福祉センター
	7月3日	実行委員会：反省会	V C 永山分室
	7月31日	実行委員会：スケジュール検討、モニター・チラシ、広報検討	V C 永山分室
	9月4日	実行委員会：専門相談員との打合せ	V C 永山分室
	10月2日	実行委員会：要員数検討、PR検討、スケジュール検討	V C 永山分室
	11月6日	スタッフ・ボランティア要員説明会、実行委員会：本番手順打合せ	V C 永山分室
	11月12日	第9回多摩市聞こえと補聴器の相談会実施	ベルブ永山
12月4日	実行委員会：反省会	V C 永山分室	
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	第8回：27名 第9回：25名		
事業の成果(効果)説明	<p>第8回、第9回ともに前年度同様、申込受付開始すぐに定員に達した。これは、聞こえ方が悪くなり悩んでいる人がいかに多いかを示している。</p> <p>相談に来られた方からは、測定・相談を丁寧にやってもらえ、補聴器についても細かく分かりやすく説明を受け、また補聴器だけでなく自分の聞こえ方に合った機器は何かという解説があり大変良かった。この会場での機器類の販売はしていないので、押し付け的な販売もされず中立な立場で進めていて大変良いとの意見が寄せられている。</p> <p>参加者からの声から解るように、参加して自分の聞こえの程度が分かり、悩みを気兼ねなく相談でき、どのような対処法があり、これからの方針がはっきりする事によって安心した姿を見ることが出来た。この相談会の意義が充分発揮できたと確信する。やはりボランティア団体が開催する性格のものではなく、公的な団体(例えば市、社協、公民館)が主催するべき性格のものと考えている。</p>		

聞こえの相談会



聴力測定風景

## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名		NPO法人 多摩市聴覚障がい者情報活動センター
事 業 名		多摩市聞こえと補聴器の相談会
項 目		自 己 評 価
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p>① できた</p> <p>概ねできた</p> <p>あまりできなかった</p> <p>ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p>① できた</p> <p>概ねできた</p> <p>あまりできなかった</p> <p>ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>押し付け販売をしないので、安心して参加できる。</p> <p>新設に充分話を聞いてくれ、いろいろな問題を相談することができた。</p> <p>補聴器やその他の便利な器具についてよく教えてもらった。</p> <p>自分に合っている器具は何かがよく分かった。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>多摩市での潜在的な需要があることがはっきりし、裏付けられた。</p> <p>来談者の自己の聴力、悩み、解決方法についてそれぞれに合った方向を見つけられた。</p>
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<p>この事業は個人のプライバシーについての問題であるため、民間のボランティア団体で行う事業としては、荷の重たいものがある。参加者が安心して参加するためには、ボランティア団体の開催ではなく、公的な団体（例えば市、社協）が開催することが最良のものと考えている。</p>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。



平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	NPO法人 多摩市聴覚障がい者情報活動センター		
事業名	多摩市聞こえと補聴器の相談会		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費	31,160	別紙	16-31,54-75
	講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼		
測定・相談員謝礼	130,600	(10000円×6人、5000円×1人)×2回	8-14,44-50
展示担当員謝礼	10,000	5,000円×2回	15,51
	チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費		
チラシ・ポスター作成	15,451	印刷代、資料コピー(当日・実行委員会)	3,43,6,35,78,79,53
消耗品	11,486	ファイル、封筒、のり、用紙、セロテープ	1,4,7,32,34,37,38,77
	専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用		
	機器類の賃借(レンタル)料等		
	イベントなどの会場等の使用料		
会場費	10,250	永山公民館(ベルブ永山)	41,42
	保険料等		
行事保険	2,900	(30円×45人)×2回、手数料100円×2回	33,52
	その他必要な経費		
郵送費	11,890	資料郵送・アンケート郵送、礼状	2,5,36,39,76
雑費	2,000	記録用CD	40,80
人件費以外の計	194,577		
支出合計(対象経費)	225,737		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費			
専門相談員弁当	6,240	(390円×8人)×2回	81,82
お茶	2,932	相談員、展示担当員、要員	83-87
交通費	1,200	成果報告会(400円×3人)	89-91
雑費	30	キャンセル待ち連絡電話	
支出合計(対象外経費)	10,402		
事業総額(対象外経費を含む)	236,139	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	第19回文庫展「子どもと本の広場 - 本の世界であそぼう - 」		
事業の目的	文庫の活動を広く多くの方に知らせ、絵本原画の持つ芸術性に触れて、作者の絵本作りに込められた思いを知ることで、創造力・思考力・社会性をより高め、子どもに本のすばらしさを伝える。		
実施期間	平成18年4月1日(土)～平成19年3月31日(土)		
実施内容	年月日	内 容	実施場所
	平成18年5月9日	第19回文庫展について企画会議	永山公民館
	6月13日	企画会議	永山公民館
	7月11日	企画会議	永山公民館
	9月12日	企画会議	永山公民館
	10月10日	企画会議	永山公民館
	10月27日	講師との打合せ	フレイブル館
	11月14日	文庫展実行委員会	永山公民館
	12月12日	文庫展実行委員会	永山公民館
	平成19年1月9日	実行委員会	永山公民館
	1月16日	実行委員会	永山公民館
	2月13日	実行委員会	永山公民館
	2月20日	実行委員会	永山公民館
	2月22日	実行委員会	永山図書館
	2月23日	実行委員会	永山公民館
	2月24日～28日	第19回文庫展	永山公民館
3月13日	実行委員会	永山公民館	
3月20日	実行委員会	永山公民館	
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	入場者総数 1860人(前年比+80人)		
事業の成果(効果)明 説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市内外から多くの来場者があった</li> <li>・近隣保育園では、来場が恒例となり、保育園の事業の一つにもなっている。</li> <li>・お絵描きコーナーやクイズ・タペストリー作りなど、参加する事により絵本に深く関われるようになった。</li> <li>・原画を観る事により、絵本に対する見方が広がった。</li> <li>・作家の話聞くことにより、絵本作りに対する知識が広がった。</li> <li>・学生がアルバイトをする事により、文庫活動に関心を持つことができ、地域の人々との交流が広がった。</li> <li>・学校図書館の展示により、学校との連携も広がってきている。</li> </ul>		



絵本原画を展示



津田妍子さんの講演

## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	多摩市文庫連絡協議会
事 業 名	第19回文庫展「子どもと本の広場 - 本の世界であそぼう - 」
項 目	自 己 評 価
1	<p>事業は申請（計画）どおり実施できましたか</p> <p style="margin-left: 20px;">① できた 概ねできた あまりできなかった ほとんどできなかった</p>
2	<p>1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入</p> <p>主な理由</p>
3	<p>計画時に期待した効果をあげることはできましたか</p> <p style="margin-left: 20px;">できた ② 概ねできた あまりできなかった ほとんどできなかった</p>
4	<p>3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入</p> <p>主な理由</p>
5	<p>事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。</p> <p>主な理由 来場者は去年より増え、文庫関係者以外の来場も多かった。近年絵本・児童書に対する関心が高まっており、こどもだけでなく、ストレスの多い大人の癒し効果としての役割があると感じている。</p>
6	<p>今回の事業について、どのように自己評価していますか。</p> <p>他市からの来場も多く、おはなし会は毎回あふれる位人気があり、ギャラリーでのお絵かきコーナーも、場所が足りない位で大変良かったと思います。</p>
7	<p>事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。</p> <p>図書館との連携を深め、より充実した文庫展にしていきたいと思います。これ以上自立に向けてということで、補助金減額となれば事業を縮小せざるをえないが、長年に渡って積み上げてきた多摩市の文化の後退につながるのではないのでしょうか。</p>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。



平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	多摩市文庫連絡協議会	
事業名	第19回文庫展「子どもと本の広場 - 本の世界であそぼう - 」	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
販売収入	17,452	講演会での資料頒布
協賛金	2,000	中央図書館を作る会、ピエロ各1000円
銀行利子	111	預金利子
(a)小計	19,563	
自己資金(負担)	99,672	
まちづくり事業補助金充当額	319,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	438,235	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	399,875	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	438,235
------------------------	---------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 支出合計(対象経費)	399,875円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	80%
(A)	x	319,900円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	438,235円
	収支決算書(総括表)の 小計	19,563円
(B)	-	418,672円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	394,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	319,900円
	から千円未満を切り捨てた額	319,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	多摩市文庫連絡協議会		
事業名	第19回文庫展「子どもと本の広場 - 本の世界であそぼう - 」		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費	35,520	別紙	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
講演会講師謝礼	80,000	絵本作家：70,000円、教育支援者：10,000円	67,68
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
頒布資料	3,800	印刷代・用紙代	53,54,55,56,58,82,91,94,100
マット	40,099	額装用マット	51
会場装飾	12,600	お花代(＠600×21鉢)	87
コピー・印刷	11,798	ポスター作成、原稿作成用コピー、チラシ、案内状、事務用経費	61,47,44,46,40,33,37,41,42,48,36,31,28,32,29,35,21,23,30,27,103,104,99,113,106,107,111,112,115
台紙・用紙	20,926	ラシャ紙、チラシ、案内状、画用紙、模造紙	39
消耗品	16,622	プリンターインク、のり、テープ、マジックテープ、布、用紙、フェルト、糸、ボンド、安全ピン、ビニール袋、フィルム、現像、テープ	24,45,101,8,16,59,84,85,86,7,9,15,17,19,10,20,88,93,98,110,89,31,28,32,29,35,21,23,27,30
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用			
冊子作成	100,000	500部(52ページ)	60
イベントなどの会場等の使用料			
会場使用料	55,900	実行委員会・文庫展	1-6,11-14,18,22,26,81,102,116-121
保険料等			
損害保険	8,970	原画保険	50
その他必要な経費			
輸送料	4,200	原画輸送、マット	90,95,52
案内状葉書	1,550	50円×31枚	25,34
通信費	7,890	講師・出版社との連絡、案内状送付	38,43,49,83,96,97,108,109,114
人件費以外の計	364,355		
支出合計(対象経費)	399,875		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費	23,680	補助対象から除外された分	
補助対象外人件費			
交通費	3,180	講師との打合せ	
食事代	11,500	講師分	
補助対象外経費			
支出合計(対象外経費)	38,360		
事業総額(対象外経費を含む)	438,235	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	ひじり館を花いっぱい「和みの広場」に		
事業の目的	ひじり館の花壇を中心に、周辺を既設の花で飾って「和みの広場」にすると共に、地域コミュニティの場として更なる寄与をして行く。		
実施期間	平成18年4月1日( )～平成19年3月31日( )		
実施内容	年 月 日	内 容	実施場所
	5月20日 5月21日 6月17日 6月18日 6月25日 7月24日～7月30日 8月20日 8月21日  10月11日～12日  11月23日 3月12日 3月13日  通年	花壇の整備、施肥、花苗定植 花壇の整備、施肥、花苗定植 バラ苗定植 バラ苗定植 バラアーチ設置 自慢の一鉢コンテスト準備 コンテスト実施 コンテスト実施 花壇の土壌改良 球根、花苗植え付け 周辺のり面の樹木剪定 花苗補植 春植え花苗準備 花苗補植、施肥  花壇清掃、散水、除草等	ひじり館前及び周辺
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	作業参加 約30名		
事業の成果(効果)説明	「市民提案型まちづくり事業」として2年目を終了したが、1年目に較べて花壇の整備も進み、花の種類も増えてきて一段と華やかさを増してきた。周辺住民からの賛辞やねぎらいの声も多く聞かれ、この広場を中心にしたコミュニティの輪も徐々に大きくなってきたように見受けられる。		



自慢の一鉢コンテスト

## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	聖ヶ丘コミュニティーセンター運営協議会	
事 業 名	ひじり館を花いっぱい「和みの広場」に	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>1．花づくりと一緒に手伝いたいとの申入れも幾つかあり、一部作業に参加してもらったこともある。</p> <p>2．花苗や球根を提供してくれた住民もあった。</p> <p>3．花の最盛期にはよく足を止めて眺めている人や花壇を囲んで会話の花を咲かせている人も見られた。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	既設の花々を咲かせることができ、一応の成果は得られたものと思う。花が寂しくなる秋から冬の花壇を見栄え良く維持することを模索し、又予算が許せば周囲にベンチを配置することも考慮していきたい。
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	花をベースにして収入を得、自立して行くことは大変むづかしいと思うが、ひじり館の各種イベントに鉢花などを有料で提供できるよう、今後検討していきたい。

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	聖ヶ丘コミュニティーセンター運営協議会	
事業名	ひじり館を花いっぱい「和みの広場」に	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
(a)小計	0	
自己資金(負担)	127,497	
まちづくり事業補助金充当額	177,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	304,497	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	295,451	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	304,497
------------------------	---------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(支出)の 支出合計(対象経費)	295,451円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	60%
(A)	×	177,270円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	304,497円
	収支決算書(総括表)の 小計	0円
(B)	-	304,497円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	180,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	177,270円
	から千円未満を切り捨てた額	177,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。





## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	第16回映画祭TAMA CINEMA FORUM		
事業の目的	日本映画の活性化と市民による「映画・映像」を通して“まち”づくりを大きな目的として事業展開を行っていく。このことによって市民の手で若手映像作家の発掘を行うと同時に映像の街・TAMAを全国にアピールし活気あふれるまちづくりに貢献していく。		
実施期間	平成18年11月18日(土)～平成18年11月26日(日)		
実施内容	年月日	内容	実施場所等
	11月18日～11月26日	第16回映画祭 TAMA SINEMA FOURM	やまばとホール、バルテノン多摩、ベルブホール、ヴィータホール
	18年2月12日～19年1月28日	実行委員会(毎月2回～3回:計26回)	
	3月12日 7月2日 12月17日	第1回説明会 第2回説明会 第3回説明会	新規実行委員説明会
	7月8日 8月27日 9月3日	第1回交流会「ユンカース・カム・ヒア」上映会 第2回交流会「学習会」 第3回交流会「ヨコハマメーリー」上映会	
	10月22日 10月28日～11月26日 平成19年1月14日	ボランティア委員会(説明会) 映画祭PR及び映画祭運営 反省会	ボランティア委員会
	6月19日～10月30日 8月5日・6日 10月21日 10月29日 9月15日～12月12日 8月10日・10月22日 10月13日 8月27日・9月24日 9月20日～12月3日 11月16日 11月3日	協賛依頼のための企業訪問・準備(延べ31日:30社) フリーマーケット・永山盆踊り ハロウィンin多摩センター出店準備 ハロウィンin多摩センター出店 支援会委員会(8回):会員呼びかけ、支援金要請関係 上映作品の交渉 映写技師確保のための打合せ ゲスト交渉及び打合せ(電話交渉含む) パンフレット委員会 ポスター・チラシ・パンフ作成活動(延べ13日) 多摩市長への訪問 バルテノン多摩への訪問	自己資金調達活動
	参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	延べ20,771人	
事業の成果(効果)説明	延べ参加人数が昨年よりも減少したが、それでも2万人を超えたことは他の映画祭と比較してもかなり上位に位置することに変わりはない。鹿児島や熊本等の遠方からの参加者も多数あったことは、映画祭だけではなく多摩市の知名度を上げることに貢献している。50代・60代の多摩市民の参加が例年より多かったのは市民のニーズや期待に込んでいると言える。他の映画祭や事業と比較して公的資金を費用対効果(参加者一人当たりの公金の支出)が優れている(最小の経費で最大の効果)と言える。多摩市在住の若手作家もこの映画祭を通じて生まれるようになったのを始め、全国の若手作家たちが多摩市(この映画祭)に目を向けてくれるようになった。		



## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名		TAMA映画フォーラム実行委員会
事 業 名		第16回映画祭TAMA CINEMA FORUM
項 目		自 己 評 価
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>毎年の晩秋の風物詩として楽しみにしている市民が増えている。1年間の集大成としての質の高い作品が見られるので、これからも続けてほしい。東京都多摩市といたら“芸術の街＝映画祭の町”と日本中に認知してもらうことで多摩市の知名度を上げてほしい。等の要望が寄せられている。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>今回も鹿児島、熊本等の遠方からの来客も多く、徐々に知名度が上がっている。これは多摩市民のみを対象にする事業が多い中で文字通り多摩市発の唯一の全国向けイベントとして評価できると思う。都市（地域）間競争が激しい昨今ではこのような市民が誇れる全国向けのイベントは欠かせないし、“街”としての価値を高めることに貢献していると思う。</p>
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<p>より多くの市民・映画ファンに協力いただけるような運営を心がけていく。また、経費を削減しても集客力を高められるような広報活動を充実していく。具体的には前者は支援会員制度の普及であり、後者は経費を掛けない広報活動の工夫である。その他に開催期間を短期集中型に変えることで凝縮した企画で費用対効果を上げていくと共に近隣市への支援の働きかけもしていく。</p>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。



平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	TAMA映画フォーラム実行委員会	
事業名	第16回映画祭TAMA CINEMA FORUM	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
協賛金	700,000	キャノン、朝日生命、京王電鉄、三井ホーム、東京ライフスタイル研究所、NTTドコモ
国内映画祭支援	3,300,000	文化庁
入場料収入	7,907,000	映画祭チケット売り上げ
フリーマーケット売り上げ	33,420	自己資金調達活動
販売収入	244,220	パンフレット等売り上げ
(a)小計	12,184,640	
自己資金(負担)	235,267	
まちづくり事業補助金充当額	2,500,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	14,919,907	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	14,919,907	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	16,001,300
------------------------	------------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(支出)の 支出合計(対象経費)	14,919,907円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	25%
(A)	×	3,729,976円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	16,001,300円
	収支決算書(総括表)の 小計	12,184,640円
(B)	-	3,816,660円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	2,500,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	2,500,000円
	から千円未満を切り捨てた額	2,500,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	TAMA映画フォーラム実行委員会		
事業名	第16回映画祭TAMA CINEMA FORUM		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費		別紙	
		講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	
ゲスト出演料	912,500		41~67
司会者謝礼	180,000		177,178
		チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	
印刷費	2,755,510	チラシ、ポスター、パンフレット	36~38,224
印刷費	8,000	名刺	215
印刷費	159,075	封筒	217
宣伝費	45,841	上映作品宣材(チラシ・ポスター)	5,12,19,20,21,27,28,29,34,191,102,193,194,195,196,197
宣伝費	17,894	ドメイン更新料、レンタルサーバー利用料	179,180,181
宣伝費	55,000	プロモーションビデオ作成、企業メセナ協議会助成認定料	226,257
会場設営費	298,000	生花、吊り看板、立て看板、運搬・撤去	68,69
販売物品仕入れ	124,842	サンドイッチ・おにぎり、ジュースなど	175,176
		映写機ランプ、鉛筆、テープ、雑巾、タオル、色紙、祝袋、ボールペン、マジック、電卓、筆ペン、ガムテープ、ペンチ、電池、ブックスタンド、マーカー、紙コップ、紙皿、ゼロテープ、写真用紙、CD、など	198~211,216,218
消耗品	73,661		
		写真プリント、DVテープ、DVD	71~76,214,219,220,223,225,230
記録用消耗品	61,509		
		専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	
記録費	160,000	写真撮影、アルバム含む	70
チケット販売手数料	532,682	チケットぴあ、ローソンチケット、市内書店	234~248,250,252,255,256
新聞折込広告	962,347	多摩地区、神奈川地区A・B	39
		機器類の賃借(レンタル)料等	
フィルム借上げ	6,105,170	映画祭上映フィルム借上げ	1~34
映写機材	1,800,000	映写技師含む	35
		その他必要な経費	
振込み手数料	12,337	借上げフィルム分、映写機、印刷費分	1~36,224
宣伝費	348,820	ダイレクトメール郵送料	40
振込み手数料	3,463	宣伝費、会場設営分	39,68,69,179~181,226,192~197,257
振込み手数料	2,022	ゲスト出演者、司会者、写真撮影分	65,70,120,177,178
駐車料	2,500	ゲスト出演者分	182,183

搬送料	97,007	上映映画宣材、備用機材、ゲスト謝礼、上映F社の送料	77,108,14,78~97,104~107
電話料	75,727	会場プライベート電話、臨時電話	122,124,118,119,121
郵送料	124,000	切手・葉書	125
印紙	2,000	契約書作成用	213
人件費以外の計	14,919,907		
支出合計(対象経費)	14,919,907		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
人件費			
賞金	400,000	TAMA NEW WAVEグランプリ・特別賞	
トロフィー	43,575	TAMA NEW WAVEグランプリ・特別賞	
ゲスト賄費	160,472	出演ゲスト賄い	
スタッフ賄費	173,692	映写技師、司会者ほか弁当	
運送費	14,390	アンケートプレゼント発送	
交通費	44,200	協賛協力依頼・フィルム交渉に係る交通費	
運営費	135,180	宣伝物デザインデータ機材	
賞品	50,000	アンケートプレゼント賞品代	
諸経費	59,884	その他諸経費	
支出合計(対象外経費)	1,081,393		
事業総額(対象外経費を含む)	16,001,300	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	多摩市消費者生活フォーラム「消費者フェスタ」		
事業の目的	消費者活動を行っている市民団体・事業者・行政と連携して、市民が安心して暮らせることができるくらしや環境問題について情報発信や情報交換、啓発活動を行うことを目的とし消費者各自の行動が市場や環境に与える影響を自覚し、社会の一員として安心安全なくらしをすることを目的とする。		
実施期間	平成18年11月4日(土)～平成18年11月5日(日)		
実施内容	年月日	内容	実施場所
	4月13日	第1回実行委員会	グリナード広場 " "
	5月11日	第2回実行委員会	
	7月13日	第3回実行委員会	
	7月27日	第4回実行委員会	
	8月10日	第5回実行委員会	
	8月30日	第6回実行委員会	
	9月14日	第7回実行委員会	
	10月12日	第8回実行委員会	
	11月3日	会場準備(テント・備品の設置)	
	11月4日	「消費者フェスタ」	
	11月5日	「消費者フェスタ」・撤収	
	11月8日	第9回実行委員会	
	2月	報告書作成	
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	参加者：22団体 来場者：およそ5000人(4日：3000人、5日：2000人)		
事業の成果(効果)説 明	天候にも恵まれ、大勢の人の参加があり盛況でした。日ごろは、消費者問題や環境問題を取り組み活動している団体が一堂に会して活動内容をアピールできる場はなく、また市民団体、事業者、行政が連携して企業運営を行うこともありませんでしたが、今回のフェスタのような機会はとてもよかったと思います。各団体の活動内容も幅広く参加型の内容をそれぞれ工夫し、市民の方からも体験や実演、必ずテントに行かないと解けないクイズラリーなどあり、とてもよかったとの評価もありました。私たち多摩市消費者団体連絡会は、今回野外での開催はさらに大勢の市民への啓発活動になったと思います。		



### 消費者フェスタ

- ・オープニング
- ・参加団体発表(ごみ減量啓発)
- ・会場の様子

## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	多摩市消費者団体連絡会	
事 業 名	多摩市消費者生活フォーラム「消費者フェスタ」	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">① できた</p> <p>概ねできた</p> <p>あまりできなかった</p> <p>ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p>できた</p> <p>あまりできなかった</p> <p>ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>市民の感想は、参加型のイベントの評判は良かったが、日常生活上の消費者問題を取り上げて気楽に相談できる場を希望していることがわかった。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>市民団体・事業者・行政が連携して企画立案できたことはとてもよかったと思います。参加団体には市民が参加できる内容を企画してもらいましたが、おおむね出来ていたと思います。</p>
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<p>消費者への情報提供や啓発活動を主としている多摩市消費者団体連絡会としては事業にかかる諸経費を捻出する手立てを持たず、自立してこの事業を行うために、参加企業からの協賛金を充てることを計画しましたが、とても難しいことだと思いました。</p>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	多摩市消費者団体連絡会	
事業名	多摩市消費者生活フォーラム「消費者フェスタ」	
区分	支出額(円)	内 容
収入の部(経費名称)		
出展料	22,500	
(a)小計	22,500	
自己資金(負担)	433,472	
まちづくり事業補助金充当額	511,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	966,972	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	966,972	別 紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	1,000,655
------------------------	-----------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項 目	内 容
	決算書内訳(支出)の 支出合計(対象経費)	966,972円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	60%
(A)	×	580,183円

【積算方法2】

	項 目	内 容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	1,000,655円
	収支決算書(総括表)の 小 計	22,500円
(B)	-	978,155円

【積算方法3】

	項 目	内 容
(C)	当初の補助金交付額	511,000円

	項 目	内 容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	511,000円
	から千円未満を切り捨てた額	511,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。





## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	運動会等イベントの企画立案とその実施		
事業の目的	「連光寺／聖ヶ丘地域のスポーツ、及びレクリエーションの普及、振興を通じ地域住民のコミュニケーションと健康促進をはかる。 実施事業 ハイキング大会 地域運動会 ミニマラソン大会		
実施期間	平成18年4月1日(日)～平成19年2月11日(日)		
実施内容	年月日	内容	実施場所
	H18.4.1	準備打ち合わせ	ひじり館他
	H18.4.8	ハイキング大会	よこやま道・大谷戸公園
	H18.6.3～H18.10.10	運動会企画打ち合わせ・準備他(12回)	ひじり館他
	H18.10.14	地域大運動会会場準備	市立聖ヶ丘中学校校庭
	H18.10.15	地域大運動会	市立聖ヶ丘中学校校庭
	H18.12.20	地域大運動会反省会	ひじり館他
	H18.11.20～H19.2.4 H19.2.11	ミニマラソン企画打合せ・準備 ミニマラソン大会	ひじり館他 あいさつ道路
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	参加者 連光寺・聖ヶ丘地域住民 各行事参加人員 ハイキング大会：204名 運動会：800名 ミニマラソン大会：160名		
事業の成果(効果)明 説	この事業を通じ連光寺・聖ヶ丘地域のコミュニケーションを図り親密の密度高揚と健康促進が図れた。 地域の各種団体(コミュニティセンター、青少協、防犯協会など)と協力、補完しあい相互の目的達成の相乗効果を目指す運動会では、地域で行われている文化活動の発表の場を提供出来た。 地域との連携強化により、多摩大学、農業者大学校、聖ヶ丘小中学校生徒によるボランティア活動の拠点としての環境作りを実現出来た。		



ミニマラソン大会

地域大運動会  
 パラシュートリレー(上)  
 入場行進(下)

## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価表

団 体 名	連光寺 / 聖ヶ丘地域スポーツ振興会	
事 業 名	運動会等イベントの企画立案とその実施	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">① できた</p> <p style="text-align: center;">概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることができましたか	<p style="text-align: center;">① できた</p> <p style="text-align: center;">概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>ミニマラソン大会は、子供達の忍耐力・集中力・体力の向上及び日頃の親子の対話不足などに貢献出来た。</p> <p>運動会にては、竹とんぼ教室では親子のふれあいに多いに貢献出来た。</p> <p>車椅子高齢者の招待は、交流の場のメニューの一つとして受けいられた。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>地域を考えた（幼児、子供、大人、高齢者、身体の一部不自由な方）事業将来の提案事業が見えた。</p>
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<p>将来大栗川振興会・貝取振興会新たな地域との連携を考えに入れて事業を進めて行く。本村その他の自治会の参加を呼びかける。</p>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。



平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会	
事業名	運動会等イベントの企画立案とその実施	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
地域協賛金	150,000	地域各自治会及び管理組合(14団体)
ハイキング参加費	20,400	
ミニマラソン参加費	15,100	
(a)小計	185,500	
自己資金(負担)	6,562	
まちづくり事業補助金充当額	249,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	441,062	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	417,962	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	441,062
------------------------	---------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(支出) 支出合計(対象経費)	417,962円
	要望補助額 (原則60%以内。最大80%)	60%
(A)	x	250,777円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	441,062円
	収支決算書(総括表)の 小計	185,500円
(B)	-	255,562円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	249,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	249,000円
	から千円未満を切り捨てた額	249,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算内訳書(支出)

団体名	連光寺ノ聖ヶ丘地域スポーツ振興会		
事業名	運動会等イベントの企画立案とその実施		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費		別紙	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
運動会関係謝礼	19,000	多摩大ホラテア、準備体操指導員、救護員、ホラテア	86,87,88,89
フラダンス指導員	3,000	謝礼	90
竹とんぼ教室講師謝礼	40,000	謝礼	96
沖縄蛇三線演奏謝礼	10,000	謝礼	97
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
コピー代	50	ハイキング資料コピー	1
ポスターコンクール掲示用材料	5,225	ポスターコンクール	30
ポスターコンクール	21,600	ポスターコンクール画用紙他	70
資料印刷代	670	ミニマラソン資料印刷コピー代	59,60,77,81,82
ミニマラソン事務費	19,796	PC用紙代、プリンターインク代、完走証明書作成費	61,93,95
ミニマラソン用具	23,752	ゴールテープ代、救急箱、ストップウォッチ用電池、カラーコーン、ストップウォッチ修理費、紙皿他	64,78,79,80,85,94
運動会資料印刷コピー代	11,913	コピー・印刷代	2,3,4,5,6,8,9,14,18,19,24,26,27,28,29,31,38,39,40,41,46,57,69
運動会プログラム印刷代	63,300	運動会資料印刷コピー代	53
プログラム作成費他	51,213	運動会資料印刷コピー代	68
運動会用具	27,191	ビニールテープ代、紙雷管代、湯のみ、ビニール紐、安全表示テープ、ビニールボード、紙コップ、ハチマキ代、サンテーフライン強力ロープ、デカパンリレー用せんべい、グンテ、延長コードリース代	35,36,37,42,43,45,47,48,49,50,54,56
運動会用事務用品	7,864	封筒代、領収書、のし袋	17,44,58
機器類の賃借(レンタル)料等			
レンタカー代(機材運搬)	35,013	運動会用具・備品	65,66
イベントなどの会場等の使用料			
ひじり館使用料	1,200	ミニマラソン会議室使用料	76,91,92
ひじり館使用料	5,900	運動会会議室使用料	7,11,12,13,15,16,21,22,23,32,62,63,64,74,75
保険料等			
障害保険	51,200	運動会保険料(10月15日)	51
施設賠償保険	1,520	運動会保険料(10月15日)	52
施設賠償保険	2,500	ミニマラソン保険料(2月11日)	83
障害保険	7,500	ミニマラソン保険料(2月11日)	84
その他必要な経費			
振込み手数料	315	運動会用事務用品	17,55
郵便発送料金	3,920	運動会プログラム等発送料金	10
切手代	4,320	運動会プログラム等発送料金	20,25,33,34
人件費以外の計	417,962		
支出合計(対象経費)	417,962		

記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。  
 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。  
 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費			
聖火トーチ	23,100	運動会用具	54
支出合計(対象外経費)	23,100		
事業総額(対象外経費を含む)	441,062	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	

記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。  
 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。  
 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。

平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	「多摩」を音楽で溢れる街にしようプロジェクト		
事業の目的	<p>我々は「多摩の音楽」を起爆剤として、まちづくりを支援していきたいと考えております。現在、多摩市内で数多くのまちづくりのための事業が行われています。</p> <p>1つ1つの事業は、それぞれ成果を上げているとは思いますが、主催や所管が異なることで、横のつながりに乏しく、街全体の、そして継続的な大きなうねりとまでは至っていないように感じています。その要因は、1つには事業・団体間の横のつながり/ネットワークの不足、もう1つには多摩として人を呼び込むような共通のアイデンティティの不明瞭さ、です。</p> <p>そこで我々は「多摩の音楽」を1つのアイデンティティとして内外へ積極的に発信していくことで多摩像を創り上げ、かつその「多摩=音楽に溢れた街」というイメージを、地元の各団体の事業にどんどん活用していただけるような横のつながり/ネットワークを構築していくことを最大の目的としております。</p> <p>具体的には、まず我々が主体となって、商店街をはじめとする団体と連携しながら、地元音楽家やミュージシャンを集結したイベントを実施し、多摩の活性化を支援します。</p> <p>また、現在行われている、あるいはこれから新たに行われる数多くの事業にも「音楽」を活用して集客効果を上げていただけるように協力していきます。</p>		
実施期間	平成18年4月1日(土)～平成19年3月31日(土)		
実施内容	年月日	内容	実施場所
	4月2日 5月7日 5月21日 5月28日 6月4日 6月12日 6月15日 6月18日 6月18日 7月15日 7月19日 7月29日 7月30日 8月6日 8月12日 8月14日 8月17日 8月20日 8月26日 8月27日 8月30日 9月8日 9月9日 9月9日 9月15日 9月17日 9月18日 9月23日 9月24日 11月8日 11月19日 12月3日 12月9日 12月15日 1月28日 2月12日 3月11日	スタッフ打合せ スタッフ打合せ アーティスト打合せ わんぱく相撲(ミニライブ) スタッフ打合せ W杯観戦イベント(オーストラリア戦) アーティスト打合せ スタッフ打合せ W杯観戦イベント(クロアチア戦) スタッフ打合せ アーティスト打合せ スタッフ打合せ リハーサル スタッフ打合せ リハーサル 会場打合せ ポスター・チラシ入稿 アーティスト打合せ リハーサル スタッフ打合せ アーティスト打合せ スタッフ打合せ 新聞折込 リハーサル スタッフ打合せ スタッフ打合せ music on TAMA vol.1 リハーサル スタッフ打合せ アーティスト打合せ スタッフ打合せ スタッフ打合せ スタッフ打合せ イルミネーション・ジョイント・コンサート スタッフ打合せ スタッフ打合せ スタッフ打合せ	国土館大学  杏花飯店  杏花飯店  TOMハウス  ヴィータホール  ヴィータホール  新都市センターホール
参加・利用者人数等(団体・来場者数等)	参加者：約280人		
事業の成果(効果)説明	<p>18年度は大きく2つの成果をあげた。</p> <p>1. 市民が持つ『音楽』に対するニーズの喚起                  音楽は個々人によって趣向が異なるため、大きな括りでニーズを洗い出すことは難しい。しかし、全市民を対象とした開かれた音楽イベントのコンセプトを「いろいろなジャンルの音楽を聴いてもらう」とすることで、これまで聴かなかった新しいジャンルを体感してもらえ、来場者にこの点を評価して頂いた。つまり、「新しい音楽に出会いたい」というニーズを喚起できた。</p> <p>2. 『音楽』を軸にまちづくりを進める基礎作り                  各種音楽イベントを展開するにあたり、当団体に様々なノウハウと、地域の人たちとの出会いを蓄積できた。出演者との打合せや舞台の演出、また、効果的な告知・広報の方法といったイベント実施に必要な段取りを身につけられたことが良かった。また、たくさんの地域の方々と協働する中で、多摩を良くするための人的なネットワークを構築できつつある点も、成果として評価できる。</p> <p>19年度では上記の成果を、より具体的な効果に発展していきたいと考えている。</p>		



わんぱく相撲ミニコンサート



Music on TAMA Vol.1

## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	A r t i s t s   L i n k   T a m a	
事 業 名	「多摩」を音楽で溢れる街にしようプロジェクト	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p style="text-align: center;">① できた</p> <p style="text-align: center;">概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>全市民を対象とした開かれた音楽イベントのコンセプトを「いろんなジャンルの音楽を聴いてもらおう」とすることで、これまで聴かなかった新しいジャンルを体感してもらえ、来場者にこの点を評価して頂いた。つまり、「新しい音楽に出会いたい」というニーズが潜在的にあると考える。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	掲げたコンセプトに対して、実際に具体化していくプロセスを当団体として確立しつつある点は満足している。しかし、地域に対して、具体的な効果を上げたと言えないので、来年度は目に見える形で効果を出せるよう工夫をしていきたい。
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	まずは、本事業の目標を改めて設定して、どのような状況に達したら「事業が自立した」と言えるのか、という部分を議論する必要があると感じている。その上で、本補助金が無くても市民のためになる事業を展開する方法を模索する必要がある。

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	Artists Link Tama	
事業名	「多摩」を音楽で溢れる街にしようプロジェクト	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
協賛金	80,000	@5000×4 @40000×1 @20000×1
入場料	121,500	6ヶ月イベント72,000+49,500(計81人)
	117,300	前売り@1700×69(9月イベント)
	82,000	当日@2000×41(9月イベント)
利子	60	
(a)小計	400,860	
自己資金(負担)	9,627	
まちづくり事業補助金充当額	614,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	1,024,487	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	1,024,487	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	1,024,487
------------------------	-----------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(支出)の 支出合計(対象経費)	1,024,487円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	60%
(A)	×	614,692円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	1,024,487円
	収支決算書(総括表)の 小計	400,860円
(B)	-	623,627円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	788,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	614,692円
	から千円未満を切り捨てた額	614,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	Artists Link Tama		
事業名	「多摩」を音楽で溢れる街にしようプロジェクト		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費		別紙	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
イベント出演料	490,000		3,37 - 43,51,52
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
印刷経費	93,300	チラシ・ポスター・パンフレット	23,35,47
消耗品類	18,055		1,2,7,8,15,18-21,24,26,30,31,33,34,36,50
新聞折込	15,592	5000部	48
コピー代	980		4,5
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用			
舞台・照明・音響・調律	319,410		45,49,53
機器類の賃借(レンタル)料等			
アンプ使用料	10,000		44
イベントなどの会場等の使用料			
使用料	54,350	会場及びピアノ使用料	6,9-14,16,17,22,27,32
保険料等			
損害保険	8,400		29
その他必要な経費			
駐車場(9/18)	8,800	出演者分	46
発送費	5,600		25,28
人件費以外の計	1,024,487		
支出合計(対象経費)	1,024,487		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費			
支出合計(対象外経費)	0		
事業総額(対象外経費を含む)	1,024,487	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			



## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	地域住民のスポーツ振興と子供の健全育成		
事業の目的	大栗川流域の桜ヶ丘、一の宮、東寺方、和田地域住民を対しスポーツを中心とした行事を通じて親睦を図るとともに健康の維持・促進を図ることを目的としています。具体的には、地区対抗ソフトボール大会、ミニテニス大会、あるこう会等を企画し、スポーツ振興とともに子どもが参加しやすいティボールの普及指導を行う。 また、青少協への協力として東寺方小学校校庭でのサマーキャンプ、運動会、どんと焼き、親子スポーツ大会等に参加・協力し、それらの活動を通じて子ども達にいろいろな体験をさせ、友達をより多く作る喜びを感じさせ、心身ともに健やかに成長する一助になればとの思いで取り組んでいます。		
実施期間	平成18年4月1日( )～平成19年3月31日( )		
実施内容	年月日	内 容	実施場所
	2006年6月4日	第17回地区対抗ソフトボール大会	東寺方小学校校庭
	2006年7月29日～30日	青少協サマーキャンプ(協力事業)	東寺方小学校校庭
	2006年9月23日	役員スポーツ研修会(ボウリング大会)	永山ボウル
	2006年10月30日	青少協運動会(協力事業)	東寺方小学校校庭
	2006年11月23日	あるこう会	市内。よこやまの道
	2007年1月14日	青少協どんと焼き(協力事業)	東寺方小学校校庭
	2007年2月11日	ミニテニス大会	東寺方小学校校庭
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	延べ 約1500名		
事業の成果(効果)説明	ソフトボール大会は、10人1チーム制とし、必ず女性又は小学生が2名以上参加していることを条件としているので、親子・家族での参加者が多く(応援も含め)親子、家族のふれあいがあったと思われる。他の事業でも家族での参加や子ども達の参加者が多く、当初の計画通り事業の成果があったと思われます。なによりも、大人の男性が多く参加。協力してくれたのは大変嬉しく思いました。		



ソフトボール大会



ミニテニス大会

## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	大栗川地域スポーツ振興会	
事 業 名	地域住民のスポーツ振興と子供の健全育成	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;"><input checked="" type="radio"/> 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;"><input checked="" type="radio"/> 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>今後とも、色々なスポーツ等の企画、実行をしてほしい。 特に、ソフトボール大会は今後とも継続して行ってほしいとの声が多々ありました。 青少協の関係者からは、今後も協力・支援を望まれました。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>昨年の事業とほぼ変わらない事業ができました。 今年度は、他地区からの参加者も増えると共に、青少協との関係者も大いに活発になり大変良かったと思います。何よりも、親子での参加者が多かったことが大変素晴らしいことでした。 又、役員数名の方が子どもの居場所作りに指導員として、ティボールや卓球の指導に取り組んでいます。</p>
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<p>もっとPR活動を行い、一人でも多くの参加者を募ることと、ニュースポーツを取り入れ、地域住民に対しスポーツ振興を深めていきたいと思えます。</p>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。



平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	大栗川地域スポーツ振興会	
事業名	地域住民のスポーツ振興と子供の健全育成	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
通帳新規作成	10	通帳新規作成時の入金額返金
ソフトボール大会	18,000	ソフトボール大会参加費
預金利息	6	預金利息
(a)小計	18,016	
自己資金(負担)	36,735	
まちづくり事業補助金充当額	53,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	107,751	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	89,741	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	107,751
------------------------	---------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(支出)の 支出合計(対象経費)	89,741円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	60%
(A)	x	53,844円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	107,751円
	収支決算書(総括表)の 小計	18,016円
(B)	-	89,735円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	74,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	53,844円
	から千円未満を切り捨てた額	53,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	大栗川地域スポーツ振興会		
事業名	地域住民のスポーツ振興と子供の健全育成		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費		別紙	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
ソフトボール大会	2,500	ポスター用A3カラーコピー32枚	2
18.6月4日実施	19,000	バット	23
	4,200	チラシコピー 1000枚	3
	8,400	キャッチマスク @4200×2面	6
ミニテニス大会	8,568	ボール @714×12個	8
	378	優勝カップペナント 126×3	7
	8,400	ボール @420×20個	18
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用			
機器類の賃借(レンタル)料等			
イベントなどの会場等の使用料			
会議室借上げ料	3,500	東寺方地区市民ホール第1会議室5日	10,14,16,20,22
	750	東寺方地区市民ホール第2会議室3日	11,13,17
保険料等			
傷害保険18.6.4	4,140	ソフトボール大会@46×90人	5
傷害保険18.11.23	1,380	歩こう会@46×30人	15
障害保険19.2.11	1,440	ミニテニス大会@48×30人	19
その他必要な経費			
インクカートリッジ	1,380	プリンター用インクカートリッジ1個	4
通信費(切手等)	25,600	会案内等封筒書送付	1,12,21
振込み手数料	105	ソフトボール大会ボール代振込み	9
人件費以外の計	89,741		
支出合計(対象経費)	89,741		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費			
ソフトボール大会参加費	18,000	賞品および麦茶代等に充てる	
通帳新規作成	10	通帳新規作成時の返金	
支出合計(対象外経費)	18,010		
事業総額(対象外経費を含む)	107,751	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	東寺方小学校の檜の森に蛍を復活しよう		
事業の目的	蛍の復活活動を通じて、児童に命や自然の大切さを理解してもらおうと共に地域や家族の絆の強化に努めていく		
実施期間	平成18年4月23日(日)～平成19年3月31日(土)		
実施内容	年月日	内 容	実施場所
	4月23日	板橋ホタル飼育施設長阿部宣男博士に指導、協力を依頼	
	4月30日	U字溝の清掃、近くでカワニナ発見500メートル	
	5月13日	水温観測	
	6月16日	板橋ホタル飼育施設長に指導をいただく	
	7月9日	谷戸池造り	
	7月15日	板橋ホタル飼育施設館 幼虫頂く	
	7月16日	谷戸池造り	
	7月21日	板橋ホタル飼育施設館 幼虫頂く	
	7月23日	ホタル講演会、幼虫の放流	
	8月27日	谷戸池造り	
	12月17日	カワニナ移設	
	12月23日	児童も混じってカワニナ移設	
	12月29日	セリ、クレソンを谷戸池へ	
	2月24日	セリ、クレソンを谷戸池へ	
3月4日	セリ、クレソンを谷戸池へ		
3月10日	ホタル講演会		
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	7月の蛍講演会は55名、3月の阿部先生の講演会は220名が参加		
事業の成果(効果)説明	<p>U字溝を清掃したところ1ヵ月後にカワニナが生息しているのを確認。                  谷戸池を2箇所造り、7月23日には児童、親子55名を対象に“ホタルの一生”の講演会と2万匹のホタルの幼虫の放流。                  3月10日には、ホタル博士阿部宣男先生をお招きして、“ホタルの生活史”講演会を開催し、220名の児童、親、地域のかたが参加。当日は多摩TVの取材もあり、連日にわたり講演内容が放映された。                  今年6月末に成虫が見られることを期待している。</p>		



## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	東寺方自治会	
事 業 名	東寺方小学校の檜の森に蛭を復活しよう	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p>① できた</p> <p>概ねできた</p> <p>あまりできなかった</p> <p>ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p>① できた</p> <p>概ねできた</p> <p>あまりできなかった</p> <p>ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>地域会員はもとより環境に意識の高い個人や団体から、多摩市にホテルを呼び戻そうというパネルディスカッションのお誘いがあり参加しました。個人の方からも市民活動センターに掲示したパネルを見て、ホテルの活動に参加していただいている。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>講師補助の大学院生からの情報が大変役立って、板橋ホテル飼育施設館から幼虫を頂き、水質検査をお願いしたり出来たのが良かった。もう少し学校の児童とのかかわりを押し出すべきを反省しています。</p> <p>2回目の講演会の参加人数が220名を数えたことは今後の大きな励みになります。</p>
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<p>学校の校長、副校長は活動に前向きですが、先生がもうひとつ協力姿勢がないので、児童が取り組みに消極的であった。講演会に220名の動員が出来たのも、役員が昇降口でピラを配ったり、ポスターを張ったりしたお陰と思慮しています。</p>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	東寺方自治会	
事業名	東寺方小学校の檜の森に螢を復活しよう	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
(a)小計	0	
自己資金(負担)	162,529	
まちづくり事業補助金充当額	132,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	294,529	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	220,289	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	294,529
------------------------	---------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(支出)の 支出合計(対象経費)	220,289円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	60%
(A)	x	132,173円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	294,529円
	収支決算書(総括表)の 小計	0円
(B)	-	294,529円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	240,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	132,173円
	から千円未満を切り捨てた額	132,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	東寺方自治会		
事業名	東寺方小学校の檜の森に螢を復活しよう		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費		別紙	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
講師料	30,000		63
講師補助	15,440		64,65,66
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
文房具	18,718		4,11,12,31,32,34,40,47,49,51,52,53,54,58,60
写真代	17,670		1,2,3,5,6,10,17,18,24,27,33,35,37
通信費	3,060		16,23,28,36,41,44,45,48,59
その他	13,073	テープ、メモリストック	25,29,39,46,57
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用			
機器類の賃借(レンタル)料等			
ユニボレンタル	39,795	8月2日22,470、9月20日17,325	19,30
イベントなどの会場等の使用料			
保険料等			
その他必要な経費			
配管用品	7,920		26
砂利	14,780		15
竹炭	11,808		20,22,61,62
植物	41,090	ホテイ草、水コケ、ほうずき、セリ、クレソン	8,9,14,42,43,50,55,56
その他	6,935	ビニールテープ、蚊取線香、水槽、書籍	7,13,21,38
人件費以外の計	220,289		
支出合計(対象経費)	220,289		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費			
飲食費、贈答品	67,220		
高速代、駐車料	1,560		
文具類	5,460		
支出合計(対象外経費)	74,240		
事業総額(対象外経費を含む)	294,529	補助対象経費 + 補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	こども古典芸能体験教室		
事業の目的	我国の優れた伝統芸能である古典芸能を体験することで、子ども達の伝統文化に対する理解と関心を深め、あわせて豊かな感性を育むことを目的とする。		
実施期間	平成18年4月27日(木)～平成19年3月25日(日)		
実施内容	年月日	内 容	実施場所
	4月～10月	中2選択音楽・赤駒祭	豊ヶ丘中学校
	6月	総合学習・国際交流	落合中
	7月～9月	総合学習・発表会	貝取中
	10月4日・6日	6年生太鼓	西落合小
	10月	全クラス音楽(2年・3年)	貝取中
	1月	全クラス音楽(1年)	東愛宕中
	11月～3月	中1選択音楽	豊ヶ丘中学校
	11月	全クラス音楽(2年)	東愛宕中
	12月20日	5年生音楽	諏訪小
2月1日・6日	5年生・6年生音楽	南鶴牧小	
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	7校 延べ約1000名		
事業の成果(効果)説明	和楽器(琴・三味線・太鼓など)の歴史や構造を説明してから構え方・弾き方の基本を教え、曲を演奏してみることによって、1時間の授業で「ほたる」「さくら」などを演奏できるようになった。講師の模範演奏や音を聞いて何を表現しているのかイメージするなど、日本の伝統的な音楽の良さを見出し、感性を高めることができた。姿勢を正し、集中する充実感や達成感を持つことで継続して学びたいという子ども達が多かった。		



豊ヶ丘中学校：赤駒祭





## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	多摩市古典芸能に親しむ会	
事 業 名	こども古典芸能体験教室	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<input checked="" type="radio"/> ① できた <input type="radio"/> 概ねできた <input type="radio"/> あまりできなかった <input type="radio"/> ほとんどできなかった
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<input checked="" type="radio"/> ① できた <input type="radio"/> 概ねできた <input type="radio"/> あまりできなかった <input type="radio"/> ほとんどできなかった
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	主な理由 新規参加校も増え、伝統文化に対するニーズが増えてきている。教育効果も高く、学校側からの評価も高い。生徒・父兄からも継続を望まれている。
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	17年度よりも多くの学校に招かれたことで、多くの子ども達に和楽器を体験してもらうことで、古典芸能に対する理解を深め、興味をもってもらうことができた。短い時間を有効に使い曲を弾くところまで指導した。指導者も昨年の経験をふまえて、更に教育効果を上げられるようになった。
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	教育委員会や市長に行政としてこの取り組みを続けていくことを要望。20年度指導要領、教育再生会議でも伝統文化を重点的に教育に取り入れる方向なので、今後とも国・都・市に働きかけていく。

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。



平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	多摩市古典芸能に親しむ会	
事業名	こども古典芸能体験教室	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
協賛金	30,000	(株)ニューポート
寄付金	50,000	(株)ベックスコーポレーション
(a)小計	80,000	
自己資金(負担)	141,970	
まちづくり事業補助金充当額	884,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	1,105,970	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	1,105,970	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	1,386,000
------------------------	-----------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(収支)の 支出合計(対象経費)	1,105,970円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	80%
(A)	×	884,776円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	1,386,000円
	収支決算書(総括表)の 小計	80,000円
(B)	-	1,306,000円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	944,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	884,776円
	から千円未満を切り捨てた額	884,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	多摩市古典芸能に親しむ会		
事業名	こども古典芸能体験教室		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費		別紙	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
講師料	870,000	10,000円×87回	
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
資料制作	5,000	コピー代	
糸代	27,300	楽器替糸代	
カセットテープ代	3,670	資料	
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用			
機器類の賃借(レンタル)料等			
三味線借料	200,000	10,000円×20丁	
イベントなどの会場等の使用料			
保険料等			
その他必要な経費			
人件費以外の計	1,105,970		
支出合計(対象経費)	1,105,970		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費	交通費	210,030	
	楽器借料	70,000	10,000円×7面
支出合計(対象外経費)	280,030		
事業総額(対象外経費を含む)	1,386,000	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	高齢者いきいき祭 グラン多摩フェスタ2006		
事業の目的	高齢者の社会参加を促進させ、高齢者のいきがい活動を支援し、地域の中で高齢者を支え合うことで、地域福祉の充実と高齢者の健康・福祉の増進及び市民文化の発展・向上を図ること。		
実施期間	平成18年9月16日(土)～平成19年3月4日(日)		
実施内容	年月日	内 容	実施場所
	平成18年9月16日	<b>演劇事業</b> 「高齢者いきいき なりきりのど自慢大会」 ・永山フェスティバル参加作品として実施 ・明るく・楽しく・そして歌う人も見る人も元気になる“のど自慢大会”の魅力を芝居という形で表現する。	永山公民館 ベルブホール
	平成19年3月3日・4日	<b>文化祭的事業</b> 「わくわく どきどき ひろば」 ・第2回地域ふれあいフォーラムに参加し実施。 ・地域でつながりを大切にしながら活動している団体や、日頃間近で見ることの少ない武道を中心とした団体の協力を得、活動の紹介や体験・交流を通して新たな地域のつながりをつくっていく。	関戸公民館 市民ロビー さくらひろば
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	・演劇事業： 出演者54 出演団体7 来場者 延べ200人 ・文化祭的事業：出演者113 出演団体10 来場者 延べ550人		
事業の成果(効果)説明	・演劇事業 高齢者の経験・知恵・能力を活かし新たな自己表現を生み出す事業として実施することができた。歌・踊り・健康体操を盛り込んだ内容で観客も出演者と共に参加しながら楽しむことができた。また、広域的な協力を得る中で、人と人とのつながりの広さを実感しあえた。 ・文化祭的事業 高齢者を中心とした武道団体や、地域でつながりを大切にしながら活動している団体の活動披露を見て楽しむと共に、それらが豊かに生きるためのいきがい活動や、健康づくりに役立っていることを共に確認しあう機会にもなった。また、体験コーナーでは、武道等の楽しさを共有する中で、観客と団体との交流も生まれた。さらに、小学生・中学生・高校生も高齢者の活動に興味を持ったようで、熱心に見入ったり・時には体験に参加するなど世代間交流の面でも成果があった。		

演劇事業



文化祭的事業



## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	多摩市高齢者社会参加拡大事業運営協議会	
事 業 名	高齢者いきいき祭 グラン多摩フェスタ2006	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">① できた</p> <p style="text-align: center;">概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>健康づくり・いきがづくり・人との出会い。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	演劇事業は前年に比べ出演者も増え、内容も豊かなものになり、観客の反応も良く、出演者・運営者・参加者・ボランティアスタッフの協力を得て、期待に近い内容となった。
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	あります。

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	多摩市高齢者社会参加拡大事業運営協議会	
事業名	高齢者いきいき祭 グラン多摩フェスタ 2006	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
(a)小計	0	
自己資金(負担)	233,213	
まちづくり事業補助金充当額	293,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	526,213	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	489,499	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	526,213
------------------------	---------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

項目	内容
決算書内訳(収支)の 支出合計(対象経費)	489,499円
補助率 (企画提案で認められた補助率)	60%
(A) ×	293,699円

【積算方法2】

項目	内容
収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	526,213円
収支決算書(総括表)の 小計	0円
(B) -	526,213円

【積算方法3】

項目	内容
(C) 当初の補助金交付額	300,000円

項目	内容
【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	293,699円
から千円未満を切り捨てた額	293,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	多摩市高齢者社会参加拡大事業運営協議会		
事業名	高齢者いきいき祭 グラン多摩フェスタ 2006		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費	45,000	別紙	
講師・専門家・出演者等への報酬・謝礼			
演劇出演者謝礼2人分	50,000		30、31
ふれあいフォーラム謝礼8団体	130,000		68~70 74~78
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
消耗品、印刷、記録	138,044	コピー代、用紙代、印刷代外 (領収書番号)	
		1~3、5~20、22、24~27	
		33、34、36~52、54、55	
		57~67、72、73、79~83	
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用			
委託	56,700	音響・照明	32
	50,000	横断幕2回分	23,71
会場演出	5,000	フラワーアレンジ	35
機器類の賃借(レンタル)料等			
イベントなどの会場等の使用料			
学校施設使用料	2,000	学校で横断幕作成	56
保険料等			
その他必要な経費			
参考資料	3,045	本代	4
舞台演出経費	8,310		28,29
駐車場	1,400	2回分	21,53
人件費以外の計	444,499		
支出合計(対象経費)	489,499		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費			
飲食	8,566	お茶代	
	4,224		
	731		
	5,546		
	4,249	ふれあいフォーラムスタッフ、出演者弁当代	
	13,398		
支出合計(対象外経費)	36,714		
事業総額(対象外経費を含む)	526,213	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			



## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	地域支え合い支援事業		
事業の目的	公民館事業として開催された地域支え合い講座で提案された「リボン活動」と「お一人暮らしの方のための冊子づくり」、「地域の居場所づくり」の3つのうち、リボン活動、冊子づくりに取組み、普及することにより、地域での支え合いのセーフティネットづくりを目的とする。また、「地域支え合いフェア」によって支え合いの学習活動と視点を変えたセーフティネットづくりを模索した。		
実施期間	平成18年4月 日( )～平成19年3月 日( )		
実施内容	年月日	内容	実施場所
	2006年4月	リボン活動(継続) H17年度版冊子配布(継続)	ヘルプ永山
5月	同上		
6月	同上/H18年度版冊子づくり改訂作業開始		
7月	同上		
8月	同上		
9月	同上/広報チラシづくり		
10月	同上		
11月	同上/リボン作業		
12月	同上/リボン作業		
1月	同上/リボン作業		
2月	H18年版冊子印刷/地域支え合いフェア準備		
3月	同上/地域支え合いフェア(3月3～4日)		
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	延べ12000人		
事業の成果(効果)説明	地域支え合い講座から3年目となり、冊子も2ヵ年版作成、リボンの数も2000個が残りわずかとなっている。地域の居場所としての福祉亭の活動も定着して来ている。ボランティア活動というよりまちづくりの色合いが濃い、この事業を進める過程で、地域の個々の市民のみなさんや、自治会、民生委員さん、家庭支援センター、ボランティアセンターなどもつながりができ始めている。リボンをつけて歩くとかワイイと言われたという話や、笑顔が返ってくるというお話もでるまでになった。冊子はお一人暮らしの方のためにということでスタートしているが、高齢のお二人暮らしのみなさんにも喜ばれている。民生委員さんも地域活動のあり、お話の取っ掛かりに使っていただいているようで心強い。多摩市全体の取組みにまでなっていないが、冊子のデータベースをそのまま他の地域の方にもお使い頂けますと申し上げているので、他の地区でも地域特性を生かした冊子が生まれ誕生するのでは。他の自治体の方にも大変興味を持って頂いている。地域ふれあいフェアで開催の孤独死予防、国際交流、鉄道模型はそれぞれ興味深く、「人と人を繋ぐ」というテーマに沿ったもので大変好評でした。講座開催の際には多摩大学、恵泉女学園大学、中央大学の先生方のサポートもあり、地域の人的資源の豊富さ、多様さにも触れることができた。		



地域支え合いフェア(講演会)



地域支え合いフェア(展示・即売)



## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	特定非営利活動法人福祉亭	
事 業 名	地域支え合い支援事業	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることができましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">② 概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>公民館の地域支え合い講座から生まれたリボン活動・冊子づくりは構想から3年目となり、地域の支え合いとして少しずつ根付き、また、広がりを見せて来た。その結果、民生委員さん、自治会、他NPO団体、一般市民への普及が図られた。地域支え合いフェアは地域ふれあいフォーラムに参加し、幅広い市民に意味、意義を認識して頂いた。両事業とも形は変化させていくことになるとは思うが継続していく。継続により更にニーズの把握と事業の新たな展開を模索していくことになると思います。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	まちづくり提案としては、当初予定より早めの自立となるが、今年度広がった地域の様々な団体や、個人と繋がりながら事業継続をしていく。そのエネルギーを持つことができたことが最大の収穫。
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	特定非営利活動法人福祉亭	
事業名	地域支え合い支援事業	
区分	支出額(円)	内容
収入の部(経費名称)	0	
(a)小計	0	
自己資金(負担)	162,298	
まちづくり事業補助金充当額	218,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	380,298	
支出の部(経費名称)	冊子づくり	
支出合計 (対象経費計)	364,548	別紙
事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)		380,298

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(支出)の 支出合計(対象経費)	364,548円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	60%
(A)	×	218,728円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	380,298円
	収支決算書(総括表)の 小計	0円
(B)	-	380,298円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	249,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	218,728円
	から千円未満を切り捨てた額	218,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	特定非営利活動法人福祉亭		
事業名	地域支え合い支援事業		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費		別紙	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
講師謝礼	80,000	地域支え合いフェア( @20000×4 )	10,11,12,14
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
紙、印刷代	6,528	事業チラシなど	1,2,3
PCソフト	28,140	講演会・プレゼン用	8
コピー	1,600	写真パネル用	9
乾電池	3,280	地域支え合いフェア	15
運搬一式	40,000	地域支え合いフェア	13
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用			
冊子・記録製作委託	200,000		18,19,20
冊子デザイン料	5,000		16
機器類の賃借(レンタル)料等			
イベントなどの会場等の使用料			
保険料等			
その他必要な経費			
人件費以外の計	364,548		
支出合計(対象経費)	364,548		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費			
材料費	10,250	リボン作成用	5,6,7
作業補助	5,000	作業補助	17
交通費	500	永山~町田	4
支出合計(対象外経費)	15,750		
事業総額(対象外経費を含む)	380,298	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

## 平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	多摩市魅力発見マップづくり		
事業の目的	<p>暮らしやすく魅力のある都市は、誰でもが望んでいるところでもあります。しかし、それは誰かがつくってくれるものではありません。そこに住んでいる我々市民が、その都市のことを良く知り、魅力を発見し、そして育てていく愛着心と市民行動こそが必要ではないでしょうか。</p> <p>そこで私たちは、まず多摩市の魅力の地域資源を発見していくことから始めようと思います。多摩市の自慢したい場所・風景・女性が良く利用するステキな店・使いやすい施設など、子ども・お年寄り・奥さん等の目線を通して魅力探し、外国人から見た多摩市の魅力等多くの市民参加のもとに多摩市の魅力を発見し、都市の魅力発見マップづくりを目指します。</p>		
実施期間	平成18年4月1日( )～平成19年3月31日( )		
実施内容	年月日	内容	実施場所
	平成18年10月16・18日	アンケート作成・印刷	永山公民館
	10月20～27日	アンケート配布	一小・東寺方小・諏訪小・瓜生小
	11月14・15日	アンケート回収	
	11月27・28日	アンケート集計作業	永山公民館
	12月13・20日	多摩大学総合研究所 松本先生打合せ	NPOセンター/永山公民館
	平成19年1月15日	ワークショップ募集お知らせ作成・印刷・配布	諏訪小・瓜生小
	1月29日	多摩大学総合研究所 松本先生・学生と打合せ	永山公民館
	2月3日	ワークショップ準備	永山公民館
	2月4・11日	ワークショップ	永山団地東永山集会所
	2月18・21・25日	資料収集	
	3月～	マップづくり作業	永山公民館
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	2/4・11 ワークショップ参加 子ども参加各4名、大人6名(大学生2名) (アンケート1500枚)		
事業の成果(効果)明 説	<p>会の諸般の事情により、内容の見直し・実施が遅れたことにより、当初の予定とは大幅に変更となったが、成果(効果)としては、以下の2点。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の協力を得て作業ができたこと。作業を通して地域・他団体・人とのつながり、連携の可能性が見えてきた。(実施していく過程で目的に賛同してくれる人・団体が多かった)</li> <li>・見直しにより、一地域での作成となったが、まず一地域で様々な視点から魅力を重ねていく実施手法の仕組みを作る第一歩となった。</li> </ul>		



## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	多摩ケンケンガクガクの会	
事 業 名	多摩市魅力発見マップづくり	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">概ねできた</p> <p style="text-align: center;">③ あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	<p>主な理由</p> <p>諸般の事情により企画中心メンバーが関われなくなり、実施内容を見直し事業開始が遅れたため</p>
3	計画時に期待した効果をあげることができましたか	<p style="text-align: center;">できた</p> <p style="text-align: center;">概ねできた</p> <p style="text-align: center;">③ あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	<p>主な理由</p> <p>実施内容を見直しにより、対象及び地域を限定し、短期間での実施となったため</p>
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>事業を実施していく過程で、事業目的・内容については、周囲からの期待感の大きさを感じた。 （今後、多様な視点からの魅力を重ねあわせていくマップ作りを通して人や地域のつながり・まちづくりに役立つことへの期待）</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>事業の目的を伝えていく中では、“周囲の期待感も感じられたこと。” “今年度 地域を限定し、子どもとのマップ作りではあったが、他団体・地域などとの連携の可能性も見えてきたこと。” から、会としては事業を継続する意義を感じている。</p>
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会の体制を整える（会員を増やし、分担して進める）</li> <li>・HPなどにより、ネットでの情報収集・発言の検討・実施</li> </ul>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 収支決算書(総括表)

団体名	多摩ケンケンガクガクの会	
事業名	多摩市魅力発見マップづくり	
区分	収入額(円)	内容
収入の部(経費名称)		
交通費	880	アンケート配布・回収
昼食(お弁当代)	2,250	アドバイザー及び学生
(a)小計	3,130	
自己資金(負担)	35,437	
まちづくり事業補助金充当額	51,000	補助金(確定)額になります。
収入合計	89,567	
支出の部(経費名称)		
支出合計 (対象経費計)	86,437	別紙

事業費総額(当該補助金の対象経費を含む金額)	89,567
------------------------	--------

補助額(決算)の積算方法について

【積算方法1】

	項目	内容
	決算書内訳(支出)の 支出合計(対象経費)	86,437円
	補助率 (企画提案で認められた補助率)	60%
(A)	×	51,862円

【積算方法2】

	項目	内容
	収支決算書(総括表)の 事業費総額(当該補助金の対象外経費を含む金額)	89,567円
	収支決算書(総括表)の 小計	3,130円
(B)	-	86,437円

【積算方法3】

	項目	内容
(C)	当初の補助金交付額	125,000円

	項目	内容
	【積算方法1】の(A) 【積算方法2】の(B) 左欄の最も低い額 【積算方法3】の(C)	51,862円
	から千円未満を切り捨てた額	51,000円

注意)

1. 補助金額は、別途、「補助金交付額確定通知書」により決定します。
2. 補助金既交付済額が補助金交付決定額より多い場合は、差額の返還をしていただきます。

平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	多摩ケンケンガクガクの会		
事業名	多摩市魅力発見マップづくり		
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号
人件費	8,000	別紙	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
アドバイザー謝礼	20,000		
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
アンケート作成	1,370	印刷・コピー	1,2,3,4,5
	2,289	A3用紙	6
	11,690	インク代、メモリー、インク、DVD	8,11,30
印刷・コピー	726		25,7,10,19,20
書籍	3,600	多摩の町名、多摩ニュータウン今昔	13,21~24
ワークショップ	341	画用紙	14
	756	用紙	15
	720	コピー印刷	16
マップ作り	21,861	用紙	26,28,29
	160	印刷	27
	5,504	用紙	36,37
イベントなどの会場等の使用料			
会場借上料	3,640	ワークショップ2/4、2/11	9
保険料等			
行事保険(ボランティア)	600		18
その他必要な経費			
郵送	140	資料送付のため	12
ビデオテープ他	4,940	記録用	17,31
振込み手数料	100	行事保険	18
人件費以外の計	78,437		
支出合計(対象経費)	86,437		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号
補助対象外人件費			
補助対象外経費			
交通費	880	アンケート配布・回収 バス代 @220×2×2回	
昼食	2,250	アドバイザー及び学生 @450×5	
支出合計(対象外経費)	3,130		
事業総額(対象外経費を含む)	89,567	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。	
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			



平成18年度市民提案型まちづくり事業補助金実績報告書

事業名	ハッピーママズ・スクール		
事業の目的	1.子育て中の母親が、仲間と共に学び、リフレッシュする場の提供。 2.長い子育て期を心身ともにゆとりをもって過ごせるよう、人の輪を広げることで生活の豊かさをふくらませて、子どもとともに自分を育てていくための仲間作りを支援する。 3.母子ともに健康で豊かな生活をしていく上で役立つ講座の提供。 4.母親には子どもを一時保育に預けることを体験してもらい、子どもには保育者や他人の子どもと保育室で遊ぶという体験をしてもらうことにより、一人で子育てするのではなく、地域の中で支えられ一緒に子育てをしていくことへの第一歩とする。		
実施期間	平成18年4月18日(火)～平成19年3月27日(火)		
実施内容	年月日	内容	実施場所
	毎月1回 毎月1回 7月と12月 1月と3月 2月と3月	タッチケア 0歳 タッチケア 1歳 保育つきヨガ講座 保育つき料理教室 保育つき産後のセルフケア講座	子ども家庭支援センター 子ども家庭支援センター ベルブ講座室&保育室 ヴィータワークショップ ベルブ講座室&保育室
参加・利用者人数等 (団体・来場者数等)	タッチケア：471組の親子 講座：162人 保育：79人		
事業の成果(効果)明 説	1.在宅で子育てする母親にとって、子どもと離れて自分のために使える時間は少ない。それは長い保育期を心身ともに元気で子どもと向き合っていく上で非常に厳しいことであり、母親のストレスは大きい。子育てを一人で背負わず、地域で仲間作りをすることによって子育てがラクになる。この事業はそのきっかけ作りを支援することができた。 2.子どもと離れて自分のための時間をもつことは、子育て中の母親にとってホッとする時間であり、自分のために時間を使うことの喜びを実感してもらうことができた。 3.母と子のタッチケアは、ベビーマッサージやタッチングを取り入れた遊びの提供により、母親のリフレッシュと、育児のスキルアップ支援、育児相談室の役割、子育ての仲間作りを支援している。3～4ヶ月のサイクルで新しいメンバーが参加し、地域に定着してきた。		



タッチケアの様子



タッチケアの様子

## 市民提案型まちづくり事業補助金自己評価書

団 体 名	NPO子育て応援団そらいろのたね	
事 業 名	ハッピーママズ・スクール	
項 目	自 己 評 価	
1	事業は申請（計画）どおり実施できましたか	<p style="text-align: center;">① できた</p> <p style="text-align: center;">概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
2	1の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
3	計画時に期待した効果をあげることはできましたか	<p style="text-align: center;">① できた</p> <p style="text-align: center;">概ねできた</p> <p style="text-align: center;">あまりできなかった</p> <p style="text-align: center;">ほとんどできなかった</p>
4	3の回答で、3・4と回答した場合のみ記入	主な理由
5	事業に対する市民ニーズ（利用者ニーズ）はどのようなものがありましたか。	<p>主な理由</p> <p>保育つき講座は、子どもが1歳になったら参加できる「お楽しみ」的要素がある。子どもと一緒に出かけ、こどもと一時離れて自分のために時間を使うことで、リフレッシュすること、健康に結びつく食やエクササイズ、気楽に育児相談できるところを求めている。</p>
6	今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>スタッフのスキルも向上し、自信がついてきた。地域の中に社会貢献できる場をもつことに喜びと誇りを感じ、よりよい場作りへの意欲が増している。</p>
7	事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<p>このような事業を体力のない市民団体が継続して実施していくことに限界を感じている。市が主催して、企画運営を市民団体に委託することはできないのか、検討してほしい。市民団体には、経験を積んだスタッフと、これまで積み重ねてきたノウハウ、アイデアがある。</p>

自己評価欄は、番号があるものは番号を選択し、それ以外は自己評価等を記載してください。



平成18年度 市民提案型まちづくり事業補助金 決算書内訳(支出)

団体名	NPO子育て応援団そらいろのたね			
事業名	ハッピーママズ・スクール			
支出の部(経費名称)	支出額(円)	説明	領収書番号	
人件費	148,640	別紙		
補助対象の経費	講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼			
	謝金	802,400	タッチケア2万×12回(延べ24日)=480,000円 ヨガ講座2万×2回(延べ6日)=120,000円 聞く受け止める:2万×1回(延べ2日)=40,000円 キッチンパーティ63,000円 料理教室49,400円 産後のセルフケア25,000円×2回=50,000円	
	チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費			
	印刷費	1,908	チラシ印刷代	
	材料、消耗品費	20,197	テープ、模造紙、ガムテープ、マーカー、フェルト、ピンなど	
	専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用			
	ホームページ更新料	252,000	21,000円×12ヶ月=252,000円	
	チラシ作成費	157,500	10,500×7回+21,000円×4回=157,500円	
	機器類の賃借(レンタル)料等			
	イベントなどの会場等の使用料			
	会場費	11,900	永山公民館:5450円 関戸公民館:6450円	
	保険料等			
	グループ保険	13,159	2006/4/1~2007/3/31	59
	その他必要な経費			
	切手	4,000		102
	雑費	2,885	振込み手数料:1285円、駐車料:1600円	
	人件費以外の計	1,265,949		
	支出合計(対象経費)	1,414,589		
	記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。			

区分	支出額(円)	説明	領収書番号	
補助対象外人件費	176,260			
補助対象外経費	材料費	525	2006/7/14保育時おやつ	24
	材料費	270	2006/7/14保育時おやつ	25
	材料費	1,155	2006/7/14保育時おやつ	26
	材料費	1,008	2006/12/25保育時おやつ	65
	材料費	210	2006/12/25保育時おやつ	66
	材料費	210	2006/12/25保育時おやつ	67
	材料費	756	2006/12/25保育時おやつ	68
	材料費	536	2006/12/25保育時おやつ	69
	材料費	1,575	2007/2/13保育時おやつ	96
	材料費	210	2007/2/26保育時おやつ	98
	材料費	186	2007/2/26保育時おやつ	99
	材料費	198	2007/2/26保育時おやつ	100
	材料費	420	2007/3/16保育時おやつ	113
	材料費	462	2007/3/16保育時おやつ	114
	材料費	210	2007/3/28保育時おやつ	125
材料費	157	2006/7/14おしりふき		
支出合計(対象外経費)	184,348			
事業総額(対象外経費を含む)	1,598,937	補助対象経費+補助対象外経費 総括表の「事業費合計」と同額になります。		
記載欄不足の場合は適宜行を挿入してください。 短期雇用者などの人件費、講師などの謝礼等、領収書の添付できない経費は「支払い確認書(受領書)」を提出してください。 保険については、「説明欄」に保険期間も記載してください。				